

## トラックの特性と事故パターン ③車幅と事故

## ■狭い道路での接触事故

トラックの車幅は2.2～2.5メートルあり、乗用車の約1.2～1.3倍です。

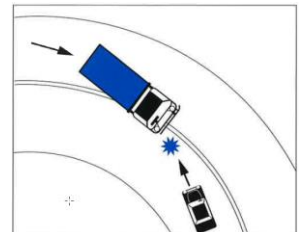
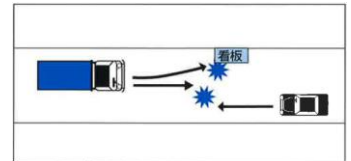
そのため、乗用車の感覚で、狭い道路でのすれ違いは、次のような事故を招きます。

◆狭い単路では、対向車と接触したり、対向車を避けようとして左に寄り過ぎて、左側端を走行する自転車と接触したり、看板などに接触する。

・特に狭い単路では、自分から止まることによって、自分のミスによる接触を防ぐばかりでなく、運転の余裕を生むことにもなります。

◆狭いカーブでは、車体の一部がセンターラインをはみ出して対向車と衝突する。

・特にカーブでは遠心力に注意して、前もって減速を行ったうえで曲がるだけでなく、カーブの道幅が狭い場合には、車幅の広いトラックはセンターラインをはみ出してしまうおそれがありますから、車幅にも注意を払った運転が必要となります。



## ■狭い道路で対向車とすれ違うときは、特に次の点に注意しましょう。

- 左側のミラーや目視などで、歩行者やバイクに気をつけながら左に寄る。
- 左側に寄り過ぎると看板などに接触することがあるので、上方にも注意する。
- 一時停止して対向車をやり過ごす。
- 右側や後続に注意して発進する。



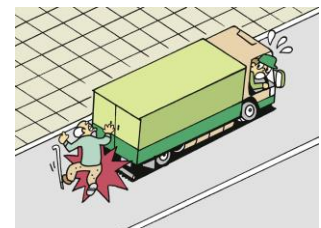
## ★狭い道路での接触事故防止のポイント

- ① 狭い単路ですれ違うときに、一時停止して対向車を先に行かせているか。
- ② 左側に寄るときには、ミラーや目視などで左側の状況や上方の状況に注意しているか。
- ③ 狭いカーブでは、センターラインをはみ出さないよう注意しているか。

## 《その他のトラックの特性と事故パターン…バック事故》

## ■バック時の代表的な事故パターン

- ・営業所や荷主の構内等の駐車場でバックするときに駐車車両に接触する。
- ・バックでホーム付けをするとき作業員に接触する。
- ・配送を終えてバックで出て行くときに、後方の子供をはねる。



## ★バック事故防止のチェックポイント

- ・バックする前に後方の安全確認をしているか。
- ・運転席からでは十分な確認ができないときは、下車して確認をしているか。
- ・周囲に人がいるときは誘導してもらっているか。
- ・配送を終えて車に乗り込む前に、車のまわりを一周して後方の確認をしているか。
- ・バックするときは歩くくらいの速度で進行しているか。